

# ひなたぼっ通信

2021年  
1月号

## 「新年のあいさつ」

新年あけましておめでとうございます。  
旧年中はいろいろとお世話になり、ありがとうございます。  
ございました。

昨年はコロナ禍ではじまり、コロナ禍で終わりましたが、私たちにとても毎日が緊張の連続でした。今年もまだまだ予断を許せません。

コロナによる倒産や失業、自殺者の増大など深刻さが増えています。

こんなときこそ医療機関や介護施設はもちろんのこと、エッセンシャルワーカーに対して機敏な対応が国や地方自治に求められます。

今年は原村の室内にグループホーム十八床を建設予定です。増え続ける認知症の入居者の皆さんに必要なサービスの提供をしてみたいと考えています。地域の皆様と一緒に「開設して良かった」と思える施設にしたいと職員一同頑張っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

理事長 森正明

今年こそは、だれにとってもいい年になりますように！  
Shimizu Home



## ケアハウスから

「今年こそはいい年に！」2階

昨年は、コロナで明けてコロナで暮れた年になりました。だれもが経験したことのない1年でした。利用者様にとっては、外からのボランティア様によるレクリエーションもなく、外出もままならない、不自由な生活が続きました。ご家族様にとっても、面会が制限され、さびしい1年でした。「家からだれも来ない。何かあったかや。」とご家族を心配される利用者様もおいででした。ご家族様も、お辛かったと思います。



pixta.jp - 5464070

「新しい年にむかって」1階

昨年は世界中で、そして日本全国でコロナウィルスが流行りました。色々な行事も中止になりました。私も、これまで毎年どこかへ旅行に行っていたのですが、昨年は自粛しました。

変なウワサが流れ、トイレトペーパー、ティッシュペーパーがなくなってしまうという事態になりました。マスクがとても高い値段になり、さらには、手の消毒薬やうがい薬も品薄状態になりました。飲食業を始め、すべての業種も大変になりました。その中で職を失う人も出てきました。本当に大変な世の中になりました。

施設も大変です。面会の際には、入り口でご家族様の荷物をお預かりするようにしました。そして、利用者様の居室内への立ち入りもご遠慮いただかざるを得なくなりました。まことに心苦しいことです。

スタッフも大変です。出勤時には、入り口で体温を測って、マスクを着用の徹底しています。

まだまだ先は見えないのですが、一人一人が気をつけて「うつさない、うつされない様」に心がけ、今まで以上に、仕事にプライベートに無理せず、でも、頑張っていこうと思います。

コロナウィルスに負けるな!!! (M)

## グループホームから

「大掃除」2階

先日モップを持って歩いていると、入居者様に「大掃除するの?」と声を掛けられました。もう

そんな時期かとハットさせられました。

最近読んだネットの記事に「周りが「チャチャ」やっている」と、自分の心もそうなってしまおうような気がする。「ということが書かれていました。」

「コロナ禍でいろいろな事に制限があるこんな時だからこそ、身近な環境を整え、自身の心も整えることが大事なのだと思います。」

一年の汚れを落とし身の周りも心もピカピカにして新年を迎えましょう。



### 「陰圧室」

※この原稿は昨年十二月に書かれました。

今年は新型コロナウイルスの拡大もあり、個人への感染症に対する意識が例年に比べ強く持たれたのだと思います。そんな中でグループホームひなたぼっこでは、感染症が出てしまった時でもより安心してご利用者様に過ごして頂けるよう今まで予備室となっていた二つの居室を陰圧室へと工事を行いました。

陰圧室とは感染症の2次感染のリスクを低減させるために、病原菌などが外に漏れないように気圧を低くすることが出来る居室です。

使わない状況が一番になりますので、引き続き感染予防の徹底やご家族の協力を得ていく事になると思いますが、宜しくお願い致します。新年度は気兼ねなくご家族に会うことが出来る日常が戻ることを願っております。

ることを願っております。

### 宅幼老所から

「一年を振り返って」

今年も、あこわすかで終わろうとしています。

振り返れば、「コロナ過の1年でした。集団行動が制限され、多くのイベントが中止されました。会いたい人に自由に逢えず行、きたい所にも行けず、そして、GO TOトラベル・GO TOイートの言葉に翻弄され「私たちはどうすればいいの・・・!」という状態ではなかったでしょうか。そんな中でしたが、「お家時間」が増え、本を読んだり、趣味の編み物をしたり。中でも私は、脳トレパズル漢字ナンクロにはまり、時間を忘れ没頭しました。ふと気が付いて、慌てて夕食の支度に取り掛かる日もありました。

来年は平穏な日々が戻りますように。そして、マスク越しではなく、大勢の晴れやかな笑顔に逢えますようにと願います。ご一緒に感染予防に心掛け過ごしましょう。(A)



### 放課後等デイサービスから

「あらためて子どもと三密」

「コロナのもてでの導びしが、1年になろうとして

ています。

「1」で思うのは、子どもの成長発達にとって、三密は欠かせないという、当たり前のことです。

クラスの人数が少ない方が、授業効果は高くなるのはその通りです。その通りですが、ものには限度があります。それはそうです。いつも先生と1対1での学校生活だったら、息が詰まります。友達同士の間合いでこそ、人への思いやりは育ちます。新しい発見もあります。喧嘩も必要なら、口角泡を飛ばしての話し合いも必要です。

そういう社会を取り戻してあげるのが、大人の責任といえます。安心して三密の中で成長できる社会を子ども達に手渡したい。そのために頑張ったと、将来成長した子ども達に言いたいと思います。

### フードバンク・無料塾

- ・12月20日に無料学習塾・百円食堂・フードバンクを行いました。あわせて15人のご参加やご利用でした。
- ・次回は1月17日(日)午前10時から。ボランティアも募集!食料品の寄付も受け付けています。※百円食堂のボランティアも募集中です。よろしくご協力をお願いします。

発行 社会福祉法人ひなたぼっこ

理事長 森 正明

TEL 399-0211

TEL 399-11650-1

TEL 399-61-2335

FAX 399-61-2336

